

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒141-0032
 住 所 東京都品川区大崎1-6-4
 氏 名 エリーパワー株式会社
 代表取締役社長 小川 哲司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エリーパワー株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区水江町4-7		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	29	電気機械器具製造業
主たる事業 の内容	蓄電池の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,676	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2020 年度 ~ 2022 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	<p>当社の地球環境問題への取組については、ホームページにて公表しております。</p> <p>http://eliipower.co.jp/environment/index.html</p>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

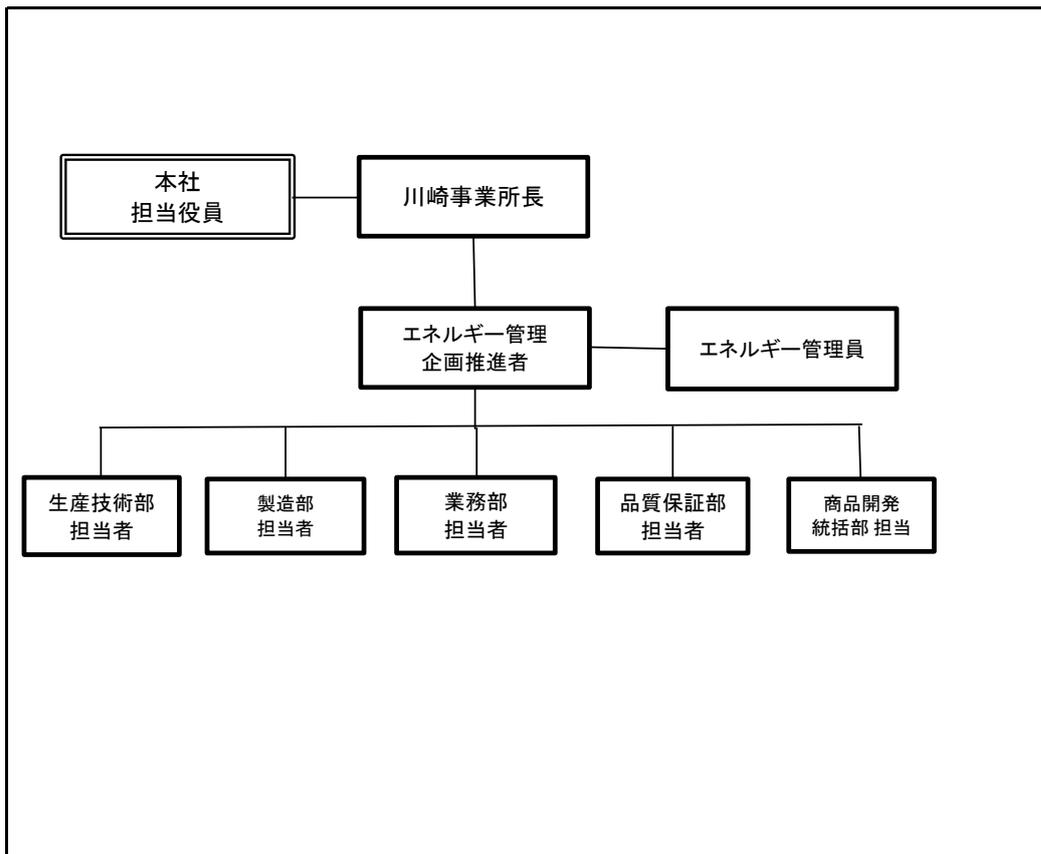
当社は、貴重な地球上の資源を有効に活用するため、大型のリチウムイオン電池を大量普及させることにより、地球温暖化等の環境問題の改善に努める。又、川崎事業所においては、温室効果ガス排出量の削減を図るため、以下の通り基本方針定め企業活動を行う。

- (1) 温室効果ガスの排出量を削減するための組織体制を構築し、一丸となって地球温暖化防止に取り組む。
- (2) 目標を明確にし、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
- (3) 省エネルギー、省資源化を推進し、環境負荷の小さい商品を市場に提供する。
- (4) 再生可能エネルギーを蓄エネし、有効利用できる商品を社会に提供することにより、地球温暖化防止に寄与する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

省エネルギー委員会を4ヶ月毎に開催し、省エネルギー対策の進捗確認、改善対策立案を実施する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2019				年度
目 標 年 度		2022				年度
基 準 排 出 量	(実)	10,367		(実)		
	(調)	10,756	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目 標 排 出 量	(実)	10,367		(実)		
	(調)	10,756	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削 減 量		(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削 減 率		(実)	0.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量					
原 単 位 の 単 位					
基 準 年 度 の 値					
目 標 年 度 の 値					
削 減 率		%		%	

ウ 目標設定に関する説明

増産に伴う設備の増設や稼働率の上昇が見込まれているため、温室効果ガスの削減は困難な状況が見込まれる。しかし、各装置の効率的な運用や、不要設備の停止等の対策を併せて行う事により、可能な限り排出量の削減に努める。

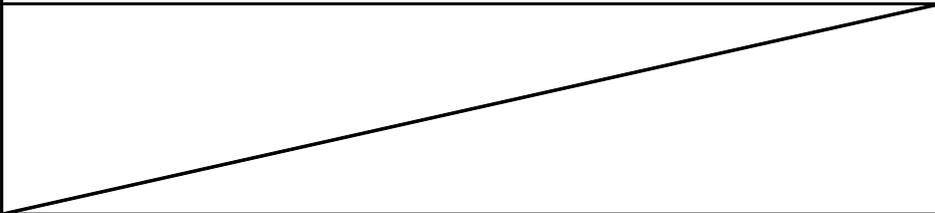
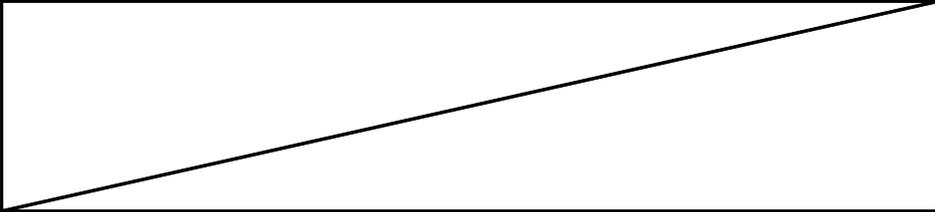
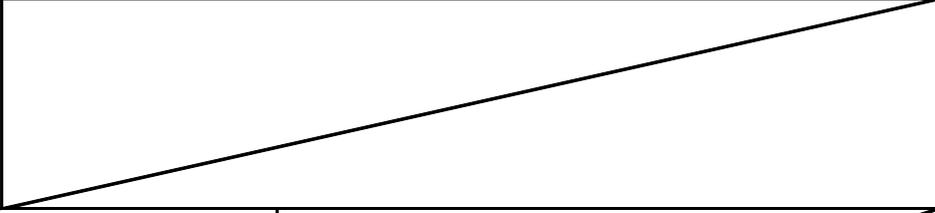
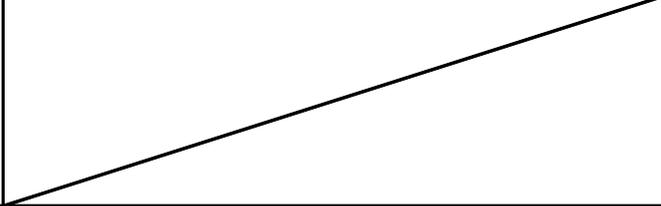
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	1. 省エネ推進体制の活用 2. 主要設備のエネルギー管理、運転条件適性化 3. 稼働率の低い機器の待機電力削減、運転パターンの見直し 4. 冷凍機の運転台数の見直し 5. 空調温度管理の徹底 6. 照明設備のLED化 7. 蒸気トラップの健全性維持
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 水冷チラーの運転台数の見直し ・ 空調温度設定条件の緩和 ・ 照明設備のLED化 ・ 蒸気トラップの健全性維持
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	工場等の新設、増設時には、太陽光発電を中心に積極的に導入を検討する。
風力		
バイオマス		
未利用エネルギー		
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電	規模：50kW 導入場所：川崎事業所(事務棟)	平成23年度
太陽光発電	規模：140kW 導入場所：川崎事業所(工場棟)	平成24年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特記事項なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネルギーキャンペーンを年2回実施し、従業員の省エネルギー意識の向上を図る。 ○事業所に入出入りする協力業者に対するエコドライブ実施の要請。 ○廃棄物の減量化・分別化の推進。 ○夏期のクールビズ実施。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	10,367	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

5,676	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎事業所	神奈川県川崎市川崎区水江町4-7	10,367 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂